



この一般質問の映像はこちらから

第7次(後期)町振興計画における自然・環境・共生のまちづくりについて



小野 曜子

質問

気候変動抑制の考えは

町 国や県との連携を図る

町は『気候非常事態宣言』を上げ、気候変動抑制を振興基本計画にすえる考えは。

問

地域住民主導の再エネ事業を支援する考えは。

答

(環境課長) 太陽光発電は規制すべき、また場所によっては禁止すべきとの意見が多く町に届いている。町が大規模な太陽光発電施設を支援することには、町民の理解が得にくいと考える。

問

公共施設での太陽光発電など、再エネ設備導入を推進する考えは。

(環境課長) 費用対効果を考えながら、施設にあったものがあれば検討していきたい。



那須町国土強靱化計画(案)について

質問

水利施設改良工事の助成増額は

町 助成上乗せは慎重に協議したい

記録的豪雨被害を受け河川の改良が必要との声がある。一級河川については、奈良川や三蔵川の被害が大きかったが国・県への要望活動は。

問

改良復旧にはこのかんがい排水事業しか適応事業がないが、町独自の上乗せ助成をするべきでは。

答

(農林振興課長) 予算も鑑み、上乗せは慎重に協議していきたい。

問

水利施設復旧に、原形復旧の予算しか出ていない。水利団体が改良工事に取り組み易くするために事業の助成を増額する考えは。

答

(農林振興課長) 県単整備事業のかんがい排水事業で改良的な復旧をする場合は、県が45%、町が20%、受益者(地元水利団体など)が35%負担となる。上乗せは他の県の補助事業との整合性、関連があり、今のところ考えていない。



大きく破損した水路の取水堰

※ほかに「町男女共同参画計画(素案)について」の質問もしています。